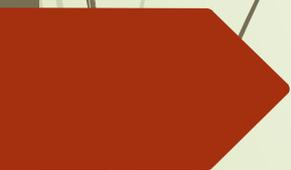


「杜の大学」 横浜国立大学
を守り続けるために



中間報告の振り返り①

- 本活動の背景：学内の樹木、落ち葉、雑草の管理が不十分
- 活動の目的：
 - 現状の把握と課題の洗い出し
 - 対応策の検討
 - 対応策のコストを明らかにし、提案



枝が落下



雑草が伸びすぎて歩行の邪魔

中間報告の振り返り②

今回検討した対応策

	課題	対応策	
木	現状把握が不十分	<ul style="list-style-type: none"> 木の健康状態の調査を業者（樹木医）に委託（管理部局に関わらず全学的に） 木の健康診断に精通した非常勤職員の登用 	①
	現状把握できたところで対応のための資金も人手も不足	<ul style="list-style-type: none"> キャンパスマスタープランの実行（既に取り組中） 土地の管理に必要な資金が確保できない部局は土地を事務局預かりとし、全学的に管理できるようにする 卒業生や退官された教員から寄附金の募集 	
	背の高い樹木の剪定等に必要の高所作業車や、高枝切り鋏、草刈機等がない	<p><u>事務局で機具を購入し、部局に貸出し（草刈機の貸し出しについては部局で持っているものもあるので情報共有をして貸し出し等を行う）</u></p>	②
落ち葉・雑草	一斉清掃では清掃範囲が広すぎて処理しきれない	<ul style="list-style-type: none"> 一斉清掃の回数を増やす 一斉清掃の参加者を増やす 例）落ち葉集めを兼ねた焼き芋大会の実施 	
	資金も人手も不十分	<ul style="list-style-type: none"> <u>安く、人手がかからない除草の方法の模索例）山羊を放牧</u> 非常勤職員やボランティアを増やす 大学で管理すべき敷地を減らす 例）一般に大学の敷地を貸与 学生のイベント等に貸し出す際に草刈等をしてもらう 	③

対応策① 木の健康診断

- 活動内容：専門家に本学の状況視察、見積もりを依頼
- 分かったこと：
 - 通常、健康診断の対象となるのは幹周60cm以上であり、本学においてその対象となるのはごく少数
 - 腐朽していることが素人目にもわかるものもあるが、専門家でないと判断できないものもある
- 提案

内容		コスト
ステップ①	腐朽した木の伐採を業者に依頼	5～10万円／本
ステップ②	初期診断を専門家に依頼	7,000円／本×100本 = 700,000円

➤ 専門家による視察結果

状態

○: 特にやることなし

△: 緊急度はないが、間伐が必要

×: 至急の対応が必要

場所	状況
△ 本部棟～中央歩行帯～守衛所	樹木が密集しすぎており、日照不足が生じており、間伐が必要
× 中央図書館前、外周道路	腐朽している木があり、倒木の恐れあり、枝折れもあり、至急対応が必要
× 理工学系事務棟周辺	腐朽した大木があり、いつ何が起きてもおかしくない



外周道路脇にて



理工学系事務棟裏にて

対応策② 機具の共同利用

- 活動内容：各部局の機具保有状況調査、購入費用の調査
- 分かったこと：
 - 大学全体としてみれば機具は予想以上にあるものの、各部局に分散している
 - チェーンソーは講習さえ受ければ誰でも使えるので、更なる効率化も可能（※ただし、伐採した木の処理に別途費用が発生）
- 提案

	内容	コスト
ステップ①	再度各部局に機具の保有状況について調査の上、ガールーン上で情報共有し、貸し借りをしやすくする	0円！！！！
ステップ②	希望者を対象にチェーンソーの受講料を大学にて負担	講習費用：2万円 (講習：13～16時間)

対応策② 機具の共同利用

➤ 現状、各部局で保有している機具一覧

	草刈り機	ブローワー	高枝切鋏	高圧洗浄機	竹箒・鎌・枝切鋏等	その他
教育	3	1	4	—	○	多機能園芸機、電動ヘッジトリマー
国社	—	—	—	—	○	
経営	1	1	1	—	○	
経済	1	1	1	1	○	
理工	—	—	—	—	○	
環境	—	1	—	1	○	
都イノ	—	—	—	—	○	比較的新しい事務部で、機材等がそろっていない。

対応策③ ヤギ

- 活動内容：先行事例の調査、費用の見積もり
- 分かったこと：
 - 明治学院大学（横浜キャンパス）、UR都市機構、荒川上流河川事務所等で導入
 - ヤギをきっかけに一定の広告効果が期待できるものの、費用負担及び工数負担は大きい
 - 費用：40～50万円／3カ月、50～80万円／6カ月
（定期健診などの頻度によって料金のブレがあり）
 - 工数：定期的に面倒を見る必要がある⇒ヤギ部の発足？
- 提案：各部局に本件を提案し、学生も含めた前向きな協力が得られるようであればさらに検討を進める



まとめ

対応策	提案内容
① 木の健康診断	<ul style="list-style-type: none">• 腐朽した木の伐採を業者に依頼• 初期診断を専門家に依頼
② 機具の共同利用	<ul style="list-style-type: none">• 再度各部局に機具の保有状況について調査の上、ガールーン上で情報共有し、貸し借りをしやすくする• 希望者を対象にチェーンソーの受講料を大学にて負担
③ ヤギ	<ul style="list-style-type: none">• 各部局に本件を提案し、学生も含めた前向きな協力が得られるようであればさらに検討を進める